

FREE

6月号
まな便

Manabin

manami-ru [まなみーる岩見沢市民会館・文化センター広報誌]

＜今月の特集＞

岩見沢吹奏楽フェスティバル
長谷和明先生インタビュー

ANIMALIVE公開製作
舞台スタッフ新人紹介

【お知らせ】
優先予約開始

「吹奏楽フェスティバル」

長谷和明先生インタビュー

岩見沢市民吹奏楽団の指揮者長谷先生が考える吹奏楽のおもしろさ、演奏会の楽しみ方とは。

聞き手:大池 ひとみ、嶋崎 陽(2018/05/07)

【第31回 岩見沢吹奏楽フェスティバル】

6月17日(日)

開場 10:00/ 開演 10:30/ 終演予定 16:00

会場:大ホール 入場無料

お問合せ:電話 0126-22-1851

岩見沢緑陵高等学校 大砦

長谷 和明

Hase Kazuaki 64歳

北海道吹奏楽連盟常任理事

空知地区吹奏楽連盟理事長

岩見沢市出身

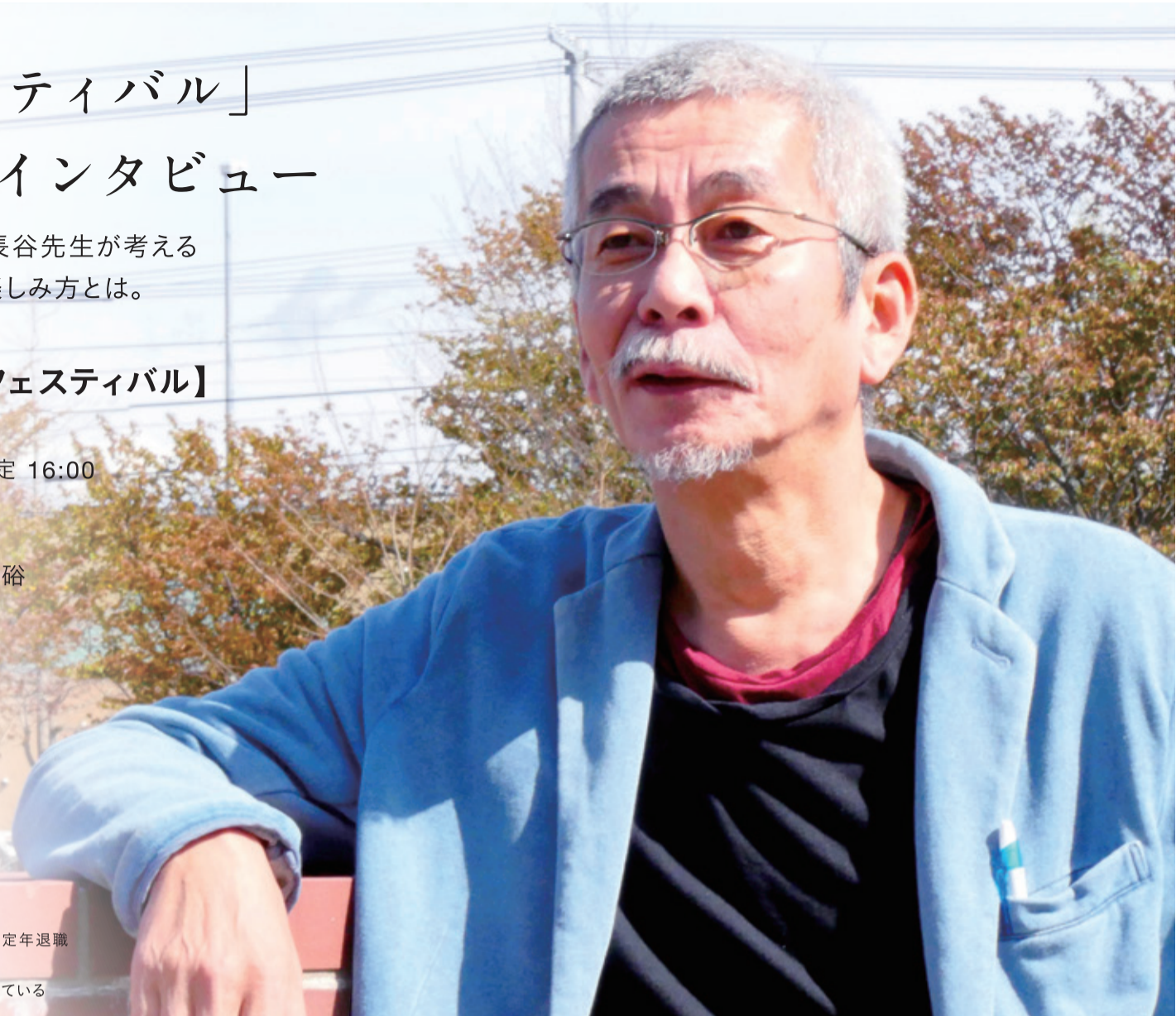
岩見沢東高等学校

日本大学芸術学部音楽学科 音楽理論コース

平成7年から平成27年まで岩見沢西高等学校に勤務・定年退職

平成8年 岩見沢市民吹奏楽団 立ち上げ

現在は岩見沢西校吹奏楽局のコーチとして指導を行っている



吹奏楽や音楽との出会いはどのようなものでしたか?

小学校6年生のときに、学芸大学だった頃の教育大岩見沢校に7つ上の姉が通っていて、クラリネットを持って帰って来ました。吹いてみるかい?と言われて吹いてみると、一発で音が出たんです。楽器の音を出すのは結構大変なんです。それでドレミを全部教わって、楽器って面白いなって思ったのが最初ですね。元々音楽は好きで、小学生の頃からなぜかモーツァルトやベートーベンなどのレコードを聴いていて、今思うと生意気な子供でした。

指揮はいつ頃から始められたのですか?

高校に入ると、できたばかりの吹奏楽部があって、2、3年で4人だけだったんですが、それでもうれしくてそこに入りました。そのときはまだ吹奏楽部の指導者がいなかったんで、僕が高校2年のコンクールの時から生徒指揮をしていたんです。そこから指揮するのが楽しくなって、はまってしまったんです。

大学は指揮科に行きたかったんですが、ストレートに入るのには難しいのでそれよりは入りやすい楽器で受験して、入ってから進路を変えようと考えました。それで、楽器屋に行つて相談したんです。「実は音大を受けたいんだけど、どんな楽器がいいんだろう。」とね。そうしたら、オーボエ、コントラバス、ファゴットがいんじゃないかなと。ファゴットで大学を受験したところ無事に合格できました。そして入学してから科を変えました。学校からはファゴットは続けてくださいと言われてましたが、指揮の勉強ばかりやっていました。

吹奏楽の魅力や面白さはどういったところだと思えますか?

やっぱり、音色の複雑さだと思います。吹奏楽は何十種類という楽器があるのと、基本的に二人パートなので、楽器の数だけパートがあるんです。

指揮者の目線ですと、その複雑さをまとめる楽しさというのがあるのでしょうか?

指揮をやっている面白さはまさにそれですね。自分と何十人もいるメンバーの考えや思いが一致するかどうかという面白さ。違つたらどうして違うんだろうと考える面白さ。プロは違うかもしれませんが、アマチュアですと音のキャッチボールをやっていることが面白いと感じます。

教育と吹奏楽はどう関係していると思われませんか?

教育と吹奏楽は別ものだと思います。教育の二環としてやっているつもりは一つもないですね。吹奏楽に教育を任せるのは教育者の怠慢だと思います。幼稚園児と中学校高校は違いますが、あくまでも音楽上の出来事ですから、二人一人に点数がつくわけではありません。ね。授業の音楽は別ですが、授業でも音楽に点数をつけるのはあまり好きじゃありません。楽しんだのであれば、全員に5をつけたいです。そして思っています。人生のなかで音楽をずっと続けてほしい、そういうことが大切なんです。どう考えても吹奏楽の楽しさは「楽しい」ですから。音楽は元々楽しいもの。楽器で遊ぶのではなくて楽器で遊ぶのが音楽だと思っています。中学校の先生には、生徒が卒業するときに吹奏楽は楽しかったと思えるような指導をしてよね、と言っています。

教育と吹奏楽は別ものだと思います。教育の二環としてやっているつもりは一つもないですね。吹奏楽に教育を任せるのは教育者の怠慢だと思います。幼稚園児と中学校高校は違いますが、あくまでも音楽上の出来事ですから、二人一人に点数がつくわけではありません。ね。授業の音楽は別ですが、授業でも音楽に点数をつけるのはあまり好きじゃありません。楽しんだのであれば、全員に5をつけたいです。そして思っています。人生のなかで音楽をずっと続けてほしい、そういうことが大切なんです。どう考えても吹奏楽の楽しさは「楽しい」ですから。音楽は元々楽しいもの。楽器で遊ぶのではなくて楽器で遊ぶのが音楽だと思っています。中学校の先生には、生徒が卒業するときに吹奏楽は楽しかったと思えるような指導をしてよね、と言っています。

長谷先生ご自身が演歌の格好をして指揮されることもあるとお聞きしました。そういったことも音楽を楽しむ一つの要素になるのでしょうか?

耳だけではなくて、目でも楽しんでもらいたいです。ずっと座って演奏していても、目は楽しくないですよ。演奏会を見て子供達がやつみたいと思ってくれるのがベストですから。よく馬鹿だなと言われるんですが、ポップスや演歌をやるときはそういう指揮をしちゃいます。ラテンとかをやるときは踊ったり、時々ジャンプしたりしながら指揮をします。やっている自分たちも楽しまないでね。僕のポリシーじゃないけど、お客様に楽しんでもらうには自分たちも楽しんだ方がいいと思っています。



西校吹奏楽曲定期演奏会にて曲に合わせた衣装を着て指揮

6月17日に開催される吹奏楽フェスティバルはどのような演奏会ですか?また、演奏会をより楽しむ方法などあれば教えてください。

学生たちは、新入生が入つてから2ヶ月目の、3学年がそろつて初めての演奏会です。なので踊つたりというのはありませんが、17団体が出演するので、学校によって色々なカラーの違いがわかつて面白いですよ。この学校はこういう感じとか、この学校は顧問の先生が変わつてこうなったのかとかね。この曲をこんな風に演奏しているのはどうしてかなというの面白いですね。僕はそんなことを考えながら聴いたり観たりしています。お客さんは自分の子供の応援に来ていて人が多いんですが、色々な音があるんだと観てくれるといいと思います。

楽器の並び方も面白いですよ。学校によっての違いを見るのも面白くて、オーケストラのように決まりは無いので、どう考えられて並んでいるかを考えるのが面白いです。あと、演奏者の顔がすてきなとか、どうしてあんなにつまらなそうに吹いているのかなと表情を見るのも楽しいです。ついマニアックになってしまいました。

各学校の吹奏楽部がこんなに集まる事はあまり無いので、ぜひ全曲聴いてもらいたいです。我が子をこの学校に行かせたいなどの進路先を見ることもできるので、そのチャンスを大事にしてほしいと思います。



2017吹奏楽フェスティバル 岩見沢緑陵高等学校吹奏楽部

NEW FACE

舞台照明のニューフェイスをご紹介!

樋口 詩菜 Higuchi Shiina

江別市出身 21歳。
4月からAIR SO・AQに入社/まなみーるで舞台照明スタッフとして勤務



趣味はなに?

学生の時はチアリーディング部とよさこいをしていて、北翔大学のよさこいチーム友和(とわ)で大学生と一緒に踊っていました。今は踊る機会がなくなったので、趣味を探し中です!

好きな舞台は?

劇団四季がすごく好きです。リトルマーメイドが一番好きで、この間福岡まで観に行きました!

照明をやろうと思ったきっかけは?

5歳くらいからダンスで舞台上に立っていて、発表会で舞台袖にいるスタッフの人を何やってるのかなと見ていたり、照明ってこんな感じなんだと思っていたりしていました。進路を考え始めた頃、見に行ったコンサートでレーザーが自分の所まで来たときに「あ、これやりたい。」と思って急に進路を変更しました。親に怒られながら専門学校に行きました(笑)

まなみーるに勤めてみて、印象はどう?

みんな優しいです!音響も照明も舞台も全部できるので、自分の勉強にもなります。それと、人との距離がすごく近いです。他の現場だとお客さんと直接関わることがほとんどないですが、ここではイベントを作る人が自分にとってのお客さんだからこそ、接し方を身につけていけそうです。

これからの意気込みは?

まずは、舞台の仕事や技術的な事を頑張っていきたいです。ミュージカルやダンスが好きなので、そういった照明もできるようになりたいです。
あと、スタッフのジャンパーを着ている人はいっぱい居るけど、誰に話しかけたら良いかわからないお客さんも居ると思うんです。なので、お客さんにとって話しかけやすい人になることが目標です!!

第二弾



まなみーるで公開制作?!



5月3日(木・祝)・4日(金・祝)に行われた「JOIN ALIVE」のチケット先行発売イベント岩見沢フェアで「ANIMALIVE」のワークショップも同時開催し、約150枚ものキリンのオブジェに使用するプレートが集まりました!



アニマライブ

ANIMALIVE

お客様参加型のオブジェ制作企画です。
皆さんの「夢」が書かれたパーツを使い、全長4mの夢いっぱいのキリンと一緒に完成させましょう!!

キリンは7月14日(土)・15日(日)に行われるJOIN ALIVEのAlternative Gardenに設置されます!是非当日会場でご覧ください!



2017年JOIN ALIVEの会場に登場した、北海道教育大学岩見沢校芸術文化・美術専攻の卒業生・在学生によるアートチーム「the Alternative」が手掛ける、入場無料エリア「オルタナティブガーデン」。アート・スポーツ・パフォーマンスなど、音楽以外の様々なカルチャーと出逢い、くつろげる空間です。

JOIN ALIVE

6月9日(土)より まなみーる受付にてチケット一般発売開始

入場券:【単日券】10,000円、【通し券】18,000円
各駐車場券:【単日券】1,500円、【通し券】3,000円、【キャンプサイト入場券】1,000円
販売期間:6月9日(土)10時00分~7月14日(土)
※【14日入場券】・【通し券】・【キャンプサイト入場券】は7月13日(金)まで



Information

優先予約開始



manami-ru

5月1日より、**岩見沢市内に拠点を置く団体、個人**(学校、幼稚園・保育園を含む)でのご利用に限り、**大・中ホール本番公演の優先予約**を開始しました。

岩見沢市内
の団体・個人でのご利用

本番公演ご利用
※リハーサルを含めた3日間まで



ホール

<優先予約>

13ヶ月前、月始め営業日の正午

※ご予約が多数ある場合は**抽選**となります。

※ **抽選**の場合
減免を受けられない団体が優先となります。

※ 詳細/ご不明な点がございましたら、
まなみーる事務室(0126-22-4233)までお問い合わせください。



ご注意

練習のみのご利用は**従来通り**です。

岩見沢市内
の団体・個人でのご利用



ホール

練習のみご利用は**従来通り**
<1年前の先着順>



小部屋

ご利用は**従来通り**
<3ヶ月前の先着順>

6月の催し物案内

Event info

行事名	開場・開演・終演	会場	入場料	主催者・問合せ先
1日(金) - 3日(日) 第65回 写真道展巡回展岩見沢会場	10:00-18:00 (予定) ※最終日のみ17:00まで	展示室	入場無料	0126-23-8712 山崎
2日(土) - 3日(日) 劇団四季 SONG&DANCE	2日 17:00-17:30-19:50 (予定) 3日 12:30-13:00-15:20 (予定)	大ホール	S席 8,640円 A席 6,480円 B席 3,240円 窓口取扱	011-200-6277 劇団四季北海道オフィス (9:30-18:00 日祝休)
9日(土) - 11日(月) 南空知書道連合会 展覧会	10:00-17:00 (予定) ※最終日のみ16:00まで	展示室	入場無料	0126-45-3541 畑端
16日(土) 獄友(ごくとも) 映画上映	① 10:00-11:55(予定) ② 13:30-15:25(予定)	中ホール	前売 900円 当日1,000円 窓口取扱	090-8900-9817 長谷川
17日(日) 第13回 岩見沢吹奏楽フェスティバル	10:00・10:30-16:00 (予定)	大ホール	入場無料	0126-22-1851 岩見沢緑陵高等学校 大裕
17日(日) ピティナ・ピアノコンペティション	10:20・10:50(予定) ※終演時間未定	中ホール	1,000円	0126-22-6220 (株)北海道教育楽器
20日(水) 井上陽水コンサート2018 ROCK PICNIC	18:00・18:30(予定) ※終演時間未定	大ホール	全席指定 8,640円(税込) ※未就学児童は入場できません。	011-614-9999 WESS (11:00-18:00 月-金)
24日(日) 琴伝流大正琴彩音会 25周年記念演奏会	12:00・12:30-15:00 (予定)	中ホール	入場無料 (要入場整理券) 窓口取扱	0126-23-0385 長谷
25日(月) - 28日(木) 吉永嘉十と仲間達展	25日 13:00-18:00 26日-27日 9:00-18:00 28日 9:00-16:30	展示室	入場無料	0126-26-2662 幌向絵画サークル 鍋谷
29日(金) 夢の競演 出演:冠二郎・松村和子	8:00・18:15(予定) ※終演時間未定	大ホール	SS席 4,000円(税込) 窓口取扱	03-6383-4451 (株)エムアイ企画
30日(土) 岩見沢市民健康講座 ひざ・股関節の強い痛み、背中での痛みでお悩みのかたへ ～その原因と最新治療について～	13:00・13:30-15:50 (予定)	中ホール	入場無料	03-6894-0000 日本ストライカー(株)
30日(土) - 7月1日(日) 岩見沢書道連盟展	10:00-17:00(予定)	展示室	入場無料	0126-25-3182 小泉



「まな便」とは

音楽、芸術、アート、まなみーるでのイベントなどをお客様に届けたい。そんな思いを込め、まなみーる便、略して「まな便」と名づけました。毎月、様々な情報をお届けいたします。

Manabin

【お問い合わせ先】



発行元/まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理
NPO 法人はまなすアート & ミュージック・プロダクション

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

〒068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1 TEL 0126-22-4233/FAX 011-351-2556

開館時間 午前9時～午後10時 / 休館日 年末年始(12月29日～1月3日)



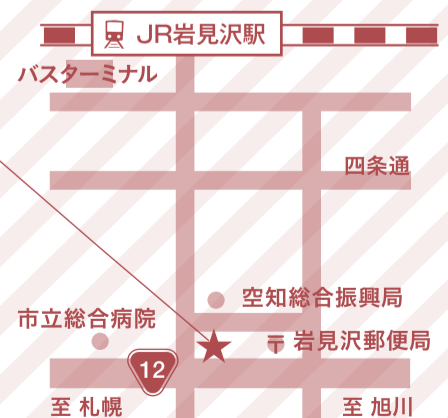
PC サイト www.manamiru.jp

スマホサイトはこちら

<http://www.manamiru.jp/sp/>

バス 駅前バスターミナルから中央バスで高速岩見沢号、かえで団地循環線、南町・春日循環線、万字線、幌向線「市民会館前」下車 徒歩1分

ACCESS アクセス



発行 NPO 法人はまなすアート & ミュージック・プロダクション(まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理者)

企画・製作 Manabin 編集部/五十嵐 あり沙、大池 ひとみ、嶋崎 陽、竹内 恭平、真野 隆徳、吉武 裕二